

# ふしぎ電車新聞

2680

発行日：平成27年8月18日  
 発行者：今井隼斗  
 大阪教育大学附属天王寺小学校

夏休み特別号

## 時刻表にはのっていない!! 『幻の電車』を見た!!

8月のある日...ぼくは電車に乗るため、近鉄上本町の駅に行った。そこには不思議な電車が止まっていた! 時刻表を見てもそこには載っていなかった。その電車の先頭には、本来行き先が表示されている所が『鮮魚』に!  
 もちろん、『鮮魚』という駅もないし、町もない。駅の案内板には『賢切』とあった。電車自体は古い型式(2680系)をたまたま三両で使っていて、車内はつり革や広告が無い。



ぼくはこの不思議な電車について、お父さんと一緒にインターネットで調べてみることにした。



くこの電車についてわかったことは>

- この電車は魚と魚を売る人々を運ぶ専用の電車。僕たちは乗ることができない。
- このような電車は近鉄だけである。
- この電車は50年ほど前がうしろを毎日走っている。
- この電車は朝の6時に三重県の駅を出発し、三時間かけて大阪上本町駅に到着する。
- その日の朝、三重県の駅を出発する発車時刻表の他にもとまる。
- この電車は朝の7時に上本町駅に着くと、魚を降したあと八尾市のある車庫で待機している。夕方の時になるとまた上本町駅に戻り、行商人の人たちを乗せて三重県へ帰る。
- その日の朝、三重県の漁者が獲れた魚を行商人の人たちが大阪で売るために運んでいる。
- お店をもっている人で、この電車をつかえる。
- 利用者は年々減っている。

## おいしい魚を運んでくれて ありがとう!

この電車は、三重県で獲れた魚を  
その日のうちに、大阪まで運ぶ  
『鮮魚列車』だったのだ!!!

ぼくが生まれるよりも昔は、いろんな鉄道会社が花や野菜を運ぶ専用列車をはしらせていたらしいが、今は近鉄のこの電車しか残っていない。これは、高速度路などが発達して、電車で運ぶことが少なくなったかららしい。

ぼくたちが、おいしくて  
新鮮な魚を食べられるのも  
この鮮魚列車のおかげ  
だと思う。



## 編集後記

貴重な列車を今も大事に残してくれている近鉄はすごい!!  
 おいしい魚を大阪まで届けてくれる人たちにありがとう!!

